

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 27 年 7 月 30 日 (2015.7.30)

【公表番号】特表 2014-522917 (P2014-522917A)

【公表日】平成 26 年 9 月 8 日 (2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報 2014-048

【出願番号】特願 2014-515992 (P2014-515992)

【国際特許分類】

D 0 6 M 15/693 (2006.01)

D 0 6 M 15/00 (2006.01)

D 0 6 M 11/56 (2006.01)

F 1 6 L 57/00 (2006.01)

F 1 6 L 11/08 (2006.01)

D 0 6 M 101/36 (2006.01)

【F I】

D 0 6 M 15/693

D 0 6 M 15/72

D 0 6 M 11/56

F 1 6 L 57/00

F 1 6 L 11/08 B

D 0 6 M 101:36

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 12 日 (2015.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

保護用織物スリーブであって、

編まれた糸からなる可撓性のある管状壁と、

前記壁に塗布された流体不浸透性コーティングとを含み、前記コーティングは水性であり、別個の第 2 の層の下にある別個の第 1 の層を含み、前記第 1 の層は、誘電性強化添加剤および増粘剤を含み、前記第 2 の層は前記増粘剤を含まない、保護用織物スリーブ。

【請求項 2】

前記編まれた糸が高温糸を含む、請求項 1 に記載の保護用織物スリーブ。

【請求項 3】

前記高温糸は N o m e x である、請求項 2 に記載の保護用織物スリーブ。

【請求項 4】

前記編まれた糸が 1 インチ当たり約 15 ~ 25 のピックを有する、請求項 1 に記載の保護用織物スリーブ。

【請求項 5】

前記コーティングが硬化される、請求項 1 に記載の保護用織物スリーブ。

【請求項 6】

前記誘電性強化添加剤は硫酸バリウムである、請求項 1 に記載の保護用織物スリーブ。

【請求項 7】

前記増粘剤はゴムタイプの増粘剤である、請求項 6 に記載の保護用織物スリーブ。

【請求項 8】

前記コーティングはフルオロラテックス (f l u o r o l a t e x) 材料である、請求項 1 に記載の保護用織物スリーブ。

【請求項 9】

保護用織物スリーブを製造する方法であって、
管状壁を編むステップと、

誘電性強化添加剤および増粘剤を含む第 1 の層を塗布し、次いで、第 1 の層を塗布した後、誘電性強化添加剤を含むが増粘剤は含まない第 2 の層を塗布するステップを含む少なくとも 2 つの別個の塗布ステップにおいて、水性コーティングを壁に塗布するステップと、

コーティングを硬化させるステップとを含む、方法。

【請求項 10】

水性コーティングを塗布する前に管状壁を熱処理するステップをさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

炎で熱処理を実行するステップをさらに含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

第 2 の層を塗布する前に第 1 の層を乾燥させるステップをさらに含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

水性コーティングに架橋剤を加えるステップをさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

約 12 時間にわたり摂氏約 200 度で硬化を実行するステップをさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 15】

第 2 の層を塗布する前に第 1 の層を乾燥させるステップをさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 16】

円形のクロスヘッドおよびワイパ・セットアップと組合わせて重力送りシステムを用いて、第 1 の層を塗布するステップをさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 17】

浸漬工程において第 2 の層を塗布するステップをさらに含む、請求項 16 に記載の方法

。